

2018年1月15日

BMW グループが自動車インポーターとして3年連続トップ獲得 2017年日本市場自動車販売台数

- 2017年のBMWグループの販売台数は、9年連続で過去最高を記録し、77,954台に。
- BMWブランド(乗用車)は3年連続で伸長し、過去最高となる52,527台に。
- MINIブランドは8年連続で伸長し、2016年に引き続き、2017年も過去最高を更新し25,427台に。
- MINIは車名別販売台数でトップに。さらに車名別販売台数トップ10内に、BMWグループの6モデルがランクイン。
- BMW Motorrad(二輪車)は、過去最高となる5,230台に。

ビー・エム・ダブリュ株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)は、同社の日本市場における2017年の販売実績を発表し、BMWグループの乗用車販売台数が外国メーカー輸入車において9年連続でトップとなる対前年比3.8%増の77,954台となったことを発表した。BMWブランド(乗用車)の販売台数は対前年比3.9%増の52,527台(過去最高)、MINIブランドは対前年比3.6%増の25,427台(過去最高)を販売した。二輪車のBMW Motorradは、14.8%増となる5,230台(過去最高)を販売した。

2017年の成功要因

BMWブランド(乗用車)

2017年1月にBMW 5シリーズを、さらに、10月にBMW X3をフルモデル・チェンジさせ、日本市場に投入した。両モデル共、BMW特有のドライビング・ダイナミクス「駆けぬける歓び」を持ちながら、最新の部分自動運転を可能とした革新的な安全支援システムを採用することにより導入当初より好調な販売を記録した。

プロダクト・ポートフォリオをより充実させるため、人気のBMW 2シリーズ アクティブ/グランツアラーに4輪駆動モデルを導入、フラッグシップ・モデルBMW 7シリーズにクリーン・ディーゼル・エンジン搭載モデルを導入する等、市場の要求に応えたモデルを矢継ぎ早に導入した。

さらには、中核モデルとなるBMW 1シリーズ、BMW 2シリーズ、BMW 3シリーズ、BMW 4シリーズにマイナー・チェンジを施し、既存モデルの刷新を行なうことで、販売増につなげた。この効果もあり、日本自動車輸入組合が発表した外国メーカー車モデル別新規登録台数のトップ10内に、BMWグループが販売する6モデルがランクインした。

MINIブランド

MINIブランドは、2002年からのMINIビジネス開始より販売台数を安定して増加させている。2015年に20,000台の大台を突破、昨年さらには大幅な伸長を示し、25,000台の大台を

突破する過去最高の 25,427 台の販売を記録した。

MINI 特有の 3ドア・モデルの販売も好調であるが、特に日本市場を見据えての導入となった 5ドア・モデルの販売が好調であり、さらには、昨年 2 月にフルモデル・チェンジした新型 MINI クロスオーバーが、販売台数の伸びを力強く牽引した。また、新型 MINI クロスオーバーには、MINI 初となるプラグイン・ハイブリッド・モデルをラインアップに加え、新たな需要を掘り起こした。

BMW ブランド(二輪車)

二輪車マーケットが全体的に小さくなっている中、BMW Motorrad は念願であった 5,000 台の大台を突破する過去最高の 5,230 台の販売を記録した。革新的な電動バイク BMW C evolution の導入、BMW グループのブランド体験型販売拠点 BMW GROUP Tokyo Bay での BMW Motorrad 販売の開始、二輪車業界初となる ETC 2.0 の全車標準装備等、顧客ニーズを満たしてきたが、最大の要因は、BMW Motorrad の量販モデルにおいて初めて普通自動二輪免許で乗車可能な BMW G 310 R および BMW G 310 GS の導入である。両モデルの導入により、より若い世代への販売が増加した。

さらなる躍進を目指す 2018 年

1981 年に輸入車業界初の 100%出資子会社として誕生したビー・エム・ダブリュー株式会社は、プレミアムな製品とサービスを提供する企業の現地法人として、日本の顧客ニーズに幅広く対応し、妥協しない製品とサービスを提供し続けてきている。今年も、プレミアムな価値を中心に要望に応えるとともに、積極的な製品攻勢を実施する予定である。本日発表の新型 BMW i3 を皮切りに、今年春には MINI 3ドア、5ドア、コンバーチブルを発表予定である。さらに、全く新しい BMW X2 や、BMW i8 クーペ、BMW i8 ロードスターの発表も予定している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 平日 9:00-19:00 / 土日祝 9:00-18:00

BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8025(企業広報)